



軽々持ち上げる満津田（ケアハウス一晃で）

出展

東日新聞

2017年

7月26日付朝刊

峰崎部屋若手力士が寿宝会訪問

入所者らと 笑顔の交流

社会福祉法人「寿宝会」（豊川市御津町）の運営する各施設に25日、大相撲名古屋場所を終えた峰

崎部屋の力士が訪れ、入所者や施設近くの保育園児らと交流した。

慰問を行ったのは、若手力士の光源治（三段目、24）と満津田（序二段、22）の2人。同町のケアハウス一晃（中村由香施設長）では同じ敷地の各施設から集まった約100人の高齢者らを前に、近くの御津西部保育園（小林奈々園長）からやってきた年中、年長児44人が相撲対決。子どもたちが飛びかかると、力士たちは大げさに転んで負けて見せ、会場を沸かせた。

2人は「元気いっぱい。本気を出したけど負けた」「悔しい。帰ったら四股（しこ）を踏みます」などとユーモアたっぷりに笑顔で感想を語った。

出羽海部屋から峰崎部屋が引き継いで続く同法人への力士慰問は17回目。この日は6カ所の施設を訪問。前日の24日には若肥前と泉川の2人が同法人の他施設4カ所を訪れた。

（森美香）